

みむろ

第150号

千種小学校

R7.11.14

『みんなが笑顔でかがやく運動会』

体育担当 福井 宏志

先月開かれた第十三回園小ふれあい運動会では、保護者・地域の皆様に、温かいご声援とたくさんのご支援をいただきました。おかげさまで、子どもたちは力いっぱい演技することができ、やり抜いた満足感を味わうことができました。本当にありがとうございました。

今年の運動会のスローガンは「みんなが笑顔でかがやく運動会」でした。このスローガンは、運営委員会が中心となり、全学年がクラスで考えてきた案をもとに代表委員会で話し合われ決定しました。私たち職員もこの「笑顔」を今回のメインテーマとすることにしました。

「みんなが笑顔」とは、いったいだれの笑顔を指すのかと子どもたちと話し合いました。当然、自分たちの笑顔が上がりました。そしてすぐに「家族」「地域の人」という声が出ました。それだけでなく、「先生たち」も笑顔にしたいという声も出ました。主役である子どもたちも、応援してくださる観客のみなさんも、サポートする私たち職員も、みんなが笑顔になる運動会を創ることを目標に、全員で力を合わせて取り組むことを決意し、練習を開始しました。

練習中、学校長より子どもたちに、チームワークの代名詞のようによく使われている「O

ne for All, All for One」の話がありました。一般的には「一人はみんなのために、みんなは一人のために」の意味で知られていますが、『All for One』の本来の意味は、「みんなは一つの目的のために」という意味だそうです。こども園の演技では、今年度、家族演技を追加しました。ダンスやかけっこもかわいらしい姿を見せてもらいました。小学生は、六年生が自分たちで考えた入場パフォーマンス、全校演技の迫力ある綱引き、低・高に分かれたダンスや競争演技を披露しました。そのどこにも、「楽しもう」「楽しんでもらおう」という子どもたちの想いが感じられ、トラック内にも観客席にも、いたるところに笑顔があふれていたように思いました。また、PTA本部役員さんを中心に、六年生の保護者の方が仮装をしてくださいました。まさに、「みんなが笑顔でかがやく運動会」という一つの目的のために、会場全体が力を合わせられた運動会になったのではないのでしょうか。運動会終了後、集合写真を撮りました。観客のみなさんにも呼びかけ任意で参加していただきました。集合写真のみなさんの表情を見ると今回の目的が達成されたことを強く感じました。

来月十六日には、園小中高合同マラソン大会があります。ご声援よろしく願います。



学校給食から広がる食育

「五感を育む」
栄養教諭 世良 光

「今日の給食おいしかった。」子どもたちのそんなひと言に、私は日々喜びを感じています。先月は食育月間の取り組みの一つとして、給食の食材を提供してくださっている生産者の方や、毎日の給食を作ってくださる調理員の方を講師として各教室にお招きし、子どもたちと一緒に給食を食べながら交流する『ふれあい給食』を行いました。児童たちはふれあい給食の時間、講師の方々と交流しながら、食に対する理解を深めていきます。

「野菜を育てるときに困ることは何ですか」「牛乳の配達は何時ごろからされていますか」などの質問が出されると、講師の皆さんは笑顔で丁寧に質問に答えてくださいます。この対話をおして児童はいつもの以上に感謝の気持ちをもつて、楽しく給食を食べることが出来たようです。

学校給食は、栄養バランスを考えた健康な体を作る食事であると同時に、子どもたちの五感を刺激する「生きた教材」でもあります。

①目で楽しむ(視覚)

給食の彩りは、献立の栄養バランスだけでなく、食欲をそそる大切な要素です。旬の食材の色や、正しく盛り付けられた食事を見て、食への興味を広げます。

②鼻で感じる(嗅覚)

食缶から漂う香りは、子どもたちに季節の訪れを知らせます。秋の炊き込みご飯の香りや、冬の温かい味噌汁の香りなど、香りは食の記憶を鮮明にし、食文化への関心を育みます。

③舌で味わう(味覚)

噛み応えのある根菜、みずみずしい果物など、さまざまな食材の味や食感を味わうことで味覚が発達します。

④耳で聞く(聴覚)

食事の前の「いただきます」、食事の後の「ごちそうさま」という声は、食に関わるすべての人への感謝を伝えます。みんなが同じ時間を共有し、食事を楽しくすることで、豊かなこころが育まれます。

⑤手で触れる(触覚)

給食当番の活動を通じて、食べ物を大切に扱うことを学びます。配膳や片付けをおして、食事の準備や後片付けの大変さを知り、感謝の気持ちが育まれます。

このように子どもたちが五感をとおして食と向き合うことで、食べ物への興味や関心が高まり、食を支える人や自然の恵みへの感謝の気持ちも育まれていきます。これからも給食をおして、千種の恵みや自然を大切にした豊かな食育を推進していきたいと思っています。

十一月の行事予定

- 十九日(水) 移動図書館・ブックトーク四年
- 二十日(木) オープンスクール(午前・教育講演会)
- 二十一日(金) オープンスクール午後
- 二十二日(日) 勤労感謝の日
- 二十四日(月) 振替休日
- 二十六日(水) 開校記念日
- 二十七日(木) 図書ボランティア来校

十二月の行事予定

- 一日(月) スクールカウンセラー来校
- 四日(木) 学力・学習調査
- 七日(日) 小中合同リサイクル活動
- 九日(火) しめ縄づくり
- 十日(水) 移動図書館・ブックトーク五年
- 十一日(木) 図書ボランティア来校
- 十五日(月) スクールカウンセラー来校
- 十六日(火) 園小中高合同マラソン大会
- 十九日(金) 給食最終日
- 二十四日(水) 二学期終業式



うんどうかい

一年

きょうは、うんどうかいがありました。おかあさんとおとうさんとおねえちゃんが見に来てくれました。ぼくががんばったことは、かけっこです。一いごとれるようにいっしょけんめいはりました。おとうさんとおかあさんとおねえちゃんとおにいちゃん、「がんばれ。」

というこえがきこえてきました。けっかは、いでした。一いをとれてうれしかったです。それから、ダンスのりのりでおどることができました。うんどうかいがおわったあと、かぞくみんなに「ダンスがじょうずだった。」とほめてもらって、うれしかったです。うんどうかいのれんしゅうはしんどかったけど、がんばってよかったです。うんどうかいは、ぜんりよくでがんばりました。

スイミーのげき

二年



ぼくは、文かさいでスイミーのげきをしました。せりふを言うところ、ダンスをがんばりました。ぼくは、くらげのやくをしました。まわりのみんながれんしゅうのときからうまかったの、すごいなと思いました。とくにインギンチャクのえんぎが大きな声でじょうずだなと思いました。帰ったら、お家の人に「すげかったね。」と言われた、うれしかったです。みんなじょうずで、本番うまくなってきたので、よかったです。

文かさい

二年

ぼくは、文かさいのスイミーのげきで赤い魚とカラフルな魚をやりました。ぼくは、げきをやっていてマダロに食べられるところが楽しかったです。それと、カラフルな魚の「だるまさんがころんだ。」と言って、あそぶところが楽しくてすきです。本番はちよっときんちようしました。でも楽しくできたので、いい一日になりました。



最高の運動会

三年

十月十一日土曜日、天気は小雨のち晴れ。運動会がありました。ときよう走、しつぽと、ダンス、つな引きに出ました。とくに楽しかったのはつな引きです。どうしてかという、みんなで力を合わせてがんばったからです。全校生でやるから、はく力もすこかったと思うし、見に来てくれた家族や地いきの人もきつとすごいと感じてくれたと思います。今年のけっかは、つな引きでも、全体のけっかでも白組に負けてしまつてくやしかったです。来年は勝ちたいです。勝つためには、きようぎの勝ち負けだけじゃなくて、開会式や閉会式のときに動かずに話を聞いたりとか、大きな声でおうえんしたりとか、ひとつひとつのことに全力を出し切ることがゆつ勝つかながらと思います。思い出してみると、白組のおうえんの声はとも大きかった気がします。赤組のみんなも、ぼくもおうえんの声は大きかったと思うけど、白組のみんなもすごいと思いました。でも、やつぱり負けてしまつたのはくやしかったので、来年はぼくのいる組が勝てるように、きようぎがいいのころも全力でがんばりたいです。そして今年楽しんだよりもっとみんなと楽しみたいで。

笑顔でがんばった文化祭

四年

十一月一日に文化祭がありました。最初、練習を始めたのは、運動会当日よりも前で、合奏は、初め難しくて大変でした。だから、練習をたくさんしました。リハーサルでは初めから全部通してしました。ここがふるさと、は声が小さかったり、リコーダーや合奏は少しまちがえたりしました。けど、当日まで後二日しかありません。最終練習の日は通し練習をしました。合奏はまちがえずに、美しく、大きな声で歌えるようになりまし。リコーダー奏や合奏もリハーサルに比べてまちがえることが少なくなりました。文化祭当日、ぼくはきんちようしてました。そうこうしているうちに、ぼくらの出番になりました。ぼくは、「失敗しても、二度はない。くいのない文化祭にしたい。」と強く思っていました。今までにない、美しく、大きな声でがんばりたい。それよりも笑顔で楽しく歌いたい。と合唱の時は思いながら歌いました。リコーダー奏の時は「もののけ姫は強くふかずにゆつたりと、一音ずつ切らずに。」

ハローサミングは楽しそうに。」と思いながら、ふきました。合奏は「まちがえたくない、まちがえたくない。」という気持ちで必死にやりました。家に帰ってビデオを見ると、どれも思っていたより楽しそうに、歌っていたのでうれしかったです。ぼくは四年生なので、今年で音楽発表が最後になつてしまつたけど、最高の思い出になりました。

人生一度の運動会

五年

待ちに待った運動会が始まりました。思った以上に人が多くて、入場パフォーマンスのとき、きんちようしてました。しかし、そのきんちようをパワーにして、一番大きな声が出せました。きつと地球のうら側のブラジルの人にもぼくたちの声が聞こえたと思います。ぼくは演技準備係でした。道具をならべる役でしたが、うまくならべられたかは分かりません。

プログラム四番の六年生家族演技では、お家の人がコスプレをして、家族でタイヤやボールなどを使っていました。ぼくは六年生たちが演技をするための物を準備しました。フラッグダンスでは、隊形移動に気をつけてしました。きつと、笑顔もわすれずにおどれました。父さんが動画をとっていてくれて、後で見たら、上手におどっていました。使ったフラッグは大切に家に保管しています。つな引きでは、みんなが一つとなり協力する大切さがわかりました。他にもプログラムをいろいろして、最後にリレーがありました。ぼくは第七走者でした。第六走者が「リード。」と言い、バトンをもらい全力で走ろうとしたとたん、くつのマジックテープが外れて、全力で走れませんでした。でも、次の第八走者には上手にバトンがわたせたので安心しました。運動会が終わって帰ってから、父さんがあたったかい大きな手でぼくの頭をやさしくなでてくださいました。今年のメンバーでできる人生一度の運動会。全力で楽しめました。



小学校最後の最高の運動会

六年

十月十一日土曜日に運動会がありました。私は運動会が始まる前、「最後だから絶対に勝ちたいなあ。」と思っていました。

最初に紅組が入場パフォーマンスをしました。曲は「共に」でした。紅組のパフォーマンスはみんなが楽しそうに踊っていて「絶対に勝ちたい！」という気持ちが伝わってきました。次に、白組が入場パフォーマンスをしました。曲は「できっこないをやらなくちゃ」でした。白組のパフォーマンスはどんなふうに見えていたかは分からないけど私は、楽しく踊れたと思います。

私が一番頑張ったのはフラッグダンスです。笑顔で踊ったり振り付けや隊形移動を間違えないようにしたりしました。でも一箇所だけ隊形移動を間違えてしまいました。そこだけちよつと悔しかったです。でも最後までやりきれたのでよかったです。

一番責任を感じたのはプログラム最後の高学年リレーでした。白組の青と白が一位と二位にならないといけなかったのです。そうじやないと得点が紅組に追い抜かされて紅組の逆転勝利になつてしまつてからです。これまでの演技の「走るだけじゃだめですか?」「トレジャーしつぽハンター!」「綱引き」で白組みんながつないでくれた得点が、このリレーで全てが決まりました。それに自分にとって小学校最後だと思つともつと緊張しました。でもみんな協力して白一位、青二位になりました。リレーが終わった後、すぐくホツとしました。なぜかと言うと、「白組が勝った!」と思つたからです。閉会式の結果発表で「白組の勝ち。」と言われたのでうれしかったです。

小学校最後の運動会。私は私なりに頑張ったと思います。楽しい運動会が出来たと思つています。次に運動会をやるのは中学校です。小学校での運動会が最後だと思うと、少しさみしい感じがしましたが、運動会の中で一番楽しい思い出が作れたと思いました。最後までやりきれたのでうれしかったです。

